

地域おこし推進員って



岩見沢市の地域おこし推進員は、国の地域おこし協力隊制度を活用し、平成27年度からスタートしました。朝日、美流渡、毛陽、万字などの東部丘陵地域を活動拠点に、一定期間その地域に住み、地域の人や団体などと協力しながら、地域資源の発掘や振興、情報発信などの地域活性化に向けたさまざまな活動を行っています。任期は最長3年で、任期終了後も市内に住み、地域を盛り上げる活動を継続している方もいます。

これまでの地域おこし推進員の活動

みる・とーぶマップの製作

「みる・とーぶプロジェクト」に協力し、東部丘陵地域に住む人たちのイラストや店舗などの情報を満載にした、地域のことが一目で分かるマップの製作に協力。



空き家のリノベーション

上美流渡にある空き家をリノベーションし、令和2年3月にゲストハウス兼イベントスペース「マルマド舎」としてオープン。地域おこし推進員OBが所有・運営。



ルコチパークの整備

令和2年に、BMX・マウンテンバイク向けのダートコースを毛陽町にオープン。ルコチはアイヌ語で「足跡、の意味。



メープル小学校のふるさと学習

地元の皆さんへのインタビューや地域の魅力を表現したデザインのソリ作りなどふるさと学習、に協力。



また、スクール生を対象に夏と冬に合宿を行ったり、メープル小学校の地域学習の一環としてBMX授業に取り組んだりするなど、コロナ禍でも子どもたちに関われる毎日を送っていました。子どもたちの成長を身近に感じ、得られた喜びから、いつの間にか「退任後は子どもたちの成長をお手伝いできる仕事に就きたい」という思いが芽生え、オンライン学習塾を立ち上げるなど、自分の進むべき道を確信した3年目でした。

地域おこし推進員として活動した3年間は、地域の子どもたちと関わる仕事を続けていくことが、自分の目標であると教えてくれました。

**3年目**  
**活動の幅を広げ**  
**自身の可能性を試す**

3年目は、ルコチパークを拠点としたBMXのイベントの開催を重ね、地域の交流人口を増やし、市外の方の認知度も高めることに重点を置いて活動しました。

「自転車の瀬尾です」と自分を売り込むことを意識し、少しずつ活動を認知してもらえるようになりました。2年目には毎週活動するBMXスクールを立ち上げることができ、子どもたちの習い事の選択肢の一つとして、皆さんにも認知され始め、とてもやりがいを感じたことを覚えていきます。

1・2年目  
地域に溶け込む

東部丘陵地域には元々知人が住んでいて、毎週のように訪れていたので慣れ親しんだ土地でした。

就任当時から、特技であるBMXを通じて地域の魅力を発信したいと考え、B



Profile

茨城県出身。山梨県の高校から北海道教育大学岩見沢校に進学し、卒業後に札幌市の民間企業に就職。令和2年5月から、地域おこし推進員として活動し、今年4月末で任期を満了。

毛陽町にBMX（競技用自転車）のコース「ルコチパーク」を整備し、各種イベントや自転車教室を開催するなど、地域の魅力発信に力を注いできた。



地域おこし推進員が出演して説明します  
7月14日(金)  
午後5時40分



地域に残した足跡

令和2年から地域おこし推進員として、東部丘陵地域を拠点に活動していた瀬尾洋裕さんが3年間の任期を終え、今年4月末で退任しました。

今月は、次のステージへ進む瀬尾さんに聞いた、これまでの活動やこれからチャレンジしていきたいことなどを紹介するとともに、昨年からの活動している3人の地域おこし推進員の現在をお伝えします。

問合せ 企画室 ☎35・4834



もりすえ まなみ  
森末 愛美さん  
(令和4年4月着任)

### Profile

広島県出身。同県の高校から北海道教育大学旭川校に進学。卒業後、令和4年4月から地域おこし推進員として活動し、現在2年目。

幼少期から取り組むスキー競技の技術を生かし、スキーレッスンの開催やメープル小学校を拠点とした教育活動を行う。

### これまでの活動

大学で学んだ知識を生かし、メープル小学校でスクールサポートスタッフや技芸講師をしています。また、万字炭山森林公園のズリ山でアクティビティを提供したり、冬には地元のスポーツクラブと連携し、萩の山市民スキー場でスキーレッスンを開催したりするなど、学習指導とスポーツ・アクティビティを中心に活動しています。

### これからの取り組み

東部丘陵地域での写生会や作品展示会といった地域学習や、ソリを使った学習など、スポーツの視点からのアプローチも取り入れつつ、子どもたちが楽しく学ぶことで、より郷土愛を育むことができるのではないかと考えています。

今後も、大学で学んできた知識と現場で得た経験を生かし、子どもたちにとって、意義の深い地域学習を展開していきたいです。



メープル小学校での学習支援の様子



ふじしま ゆうすけ  
藤嶋 裕介さん  
(令和4年5月着任)

### Profile

岩見沢市出身。岩見沢西高校から酪農学園大学に進学。大学在学中に岩見沢市の猟師に弟子入りし、猟師としての活動を開始。新潟県で猟師の経験を積み、令和4年5月から地域おこし推進員として活動し、現在2年目。

狩猟で得た動物の角などを加工した工芸品製作のほか、鹿肉を使った特産品開発を行う。

### これまでの活動

罾や鉄砲を使い、農地に侵入した鹿やアライグマの捕獲や集落に侵入したヒグマの追い払いや捕獲を行っています。昨年は罾にかかった小熊を探す親熊と鉢合わせしたこともあり、危険と隣り合わせの活動だと感じています。また、自分の活動を学生や狩猟に興味のある方に知ってもらうため、捕獲方法や解体などの見学受け入れや指導も行っています。捕獲した鹿などを食肉に加工したり、角や爪をアクセサリーにしたりして販売もしています。

### これからの取り組み

自分が毎日触れている東部丘陵地域の自然や動物の魅力を地域の子どもたちに知ってもらうため、小学校と連携した教育活動を展開していきたいと考えています。また今年5月に、東部丘陵地域でとれた鹿肉を使ったジンギスカンを発売しました。ログホテルメープルロッジや朝日町の商店などで買うことができます。岩見沢産玉ねぎと一緒にぜひ食べてみてください。



箱わなを確認している様子

3人の地域おこし推進員は引き続き、自分の知識や技能、アイデアを生かし、それぞれの活動の中で地域の魅力や資源を発見し、磨き上げ、市内外への発信を続けていきます。  
市は、地域おこし推進員の活動をサポートし、起業・就業に向けて支援しながら、地域の振興を推進していきます。



これからも  
お願いします！



## 瀬尾さんの活動写真館



ルコチパークを整備している様子



BMX を体験する来場者



BMX スクールの様子



### 瀬尾さんからのメッセージ

3年間の任期を全うできたのも、ひとえに地域の皆さんからいただいた激励の言葉や見守ってくださる温かい思いがあったからこそ、地域の皆さんに育てていただいたと感じています。

これからも活躍する地域おこし推進員には「地域の皆さんとふれあい、地域に溶け込むこと」、「自分の活動の幅を広げ、可能性を試すこと」をキーワードに、活動に打ち込んでほしいと思います。

これからの挑戦  
培った経験を糧に  
次のステージへ  
自分を育ててくれた地域に感謝をし、これからは培った経験や知識を岩見沢の子どもたちの余暇時間や学習時間を充実したものにすることで還元していきたいと考えています。今年4月には、新型コロナウイルスの制約を受けた3年間で成し得なかった、対面による学習塾を開設することができました。BMXの活動も含め、二つの活動を中心として起業し、新たな挑戦がここから始まります。

現在活躍している地域おこし推進員3人にも、どんな活動をしているのか話を聞きました。それぞれが持つ技術やアイデアを生かし、1年目から精力的に活動をしています！



うおずみ しゅん  
魚住 駿さん  
(令和4年4月着任)

### Profile

千葉県出身。静岡県の高校から東海大学に進学。大学在学中の令和4年4月から地域おこし推進員として活動し、現在2年目。

地域の農作業を手伝いながら、イベントを開催するほか、他地域とのネットワークを生かした地域活性化の取り組みを進める。

### これまでの活動

メープルロッジに併設された「森のポタジェ」で、市内外8店舗の協力を得て企画した地域特産品のマルシェと、映画上映を掛け合わせた「MAPLE CINEMA FESTIVAL」を昨年9月に開催し、岩見沢市の特産品や魅力発信を行いました。

現在はカフェのオープンに向け、古民家を改修中です。

### これからの取り組み

今年8月にオープン予定のカフェは、毛陽交流センターから徒歩5分とアクセスも良く、自家製コーヒーなどを提供するほか、定期的なワークショップなどの開催を考えており、東部丘陵地域の関係人口の創出を目指して取り組んでいきたいです。

また森のポタジェでは、マルシェをはじめとしたイベント開催を定着させ、地域の魅力発信拠点として確立するため、いろいろなことに果敢にチャレンジしたいです。



森のポタジェで開催したマルシェの様子